

令和3年7月 斐伊川水系水質情報

令和3年7月(宍道湖:1日・中海:26日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.0	△	平年並み	4.1	×	やや高い	5.8	×	やや高い
全窒素	上層	0.41	△	平年並み	0.36	○	良好	0.49	△	平年並み
全リン	上層	0.058	△	平年並み	0.036	△	平年並み	0.064	△	平年並み
Chl-a	上層	8.3	○	良好	5.0	△	平年並み	12	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,610	×	やや高い	4,480	○	やや低い	4,720	○	やや低い
	下層	4,120	×	やや高い	16,900	△	平年並み	7,550	○	やや低い
溶存酸素	上層	7.2		かなり低い	8.1		やや低い	11.3		平年並み
	下層	4.7		やや低い	6.4		平年並み	9.0		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.0	横ばい	3.8	やや上昇	4.0	やや上昇
全窒素	上層	0.32	やや上昇	0.31	横ばい	0.32	横ばい
全リン	上層	0.032	やや上昇	0.032	横ばい	0.036	やや上昇

宍道湖の透明度は2.0mから1.2mと下降し、平年並みとなった。中海の透明度も3.2mから2.2mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.2mから1.7mとやや下降し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	○	<良好> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	◎	<かなり良好> <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%